

鎌倉青年会議所が創立されてから52年目を迎えた本年、当会議所テーマ「新たなる挑戦」と掲げ、スローガン「今こそ挑もう明るい未来に向けて!!」のもと青年会議所運動を積極的に推し進めて参りました。我々青年会議所は本年、会員34名という状況の中で活動をスタート致しましたが、多くの関係諸団体、先輩方の深いご理解とご協力があった活動展開をすることが出来ました。

牧田委員長率いるまちづくり委員会では、より多くの人々にまちに関心を持ち自発的に関わって頂くべく活動をしていただきました。2月には鎌倉宮宮司の長岡氏をお呼びして、鎌倉の魅力についてメンバーにご講演を頂きました。5月には第48回慈善茶会を担当して頂きました。様々な面で例年に無い体制で取り組んでいく事が多くありましたが、委員会を筆頭にメンバー、茶道裏千家千宗室お家元様、大仏殿高德院佐藤高雄御住職様、関係諸団体の皆様の多大なるご理解ご協力おかげをもちまして無事開催させて頂く事が出来ました。今年も慈善茶会で募った収益の一部を福島浜街道桜プロジェクトという活動を積極的に行なっている団体NPO法人ハッピーロードネット様に寄付をさせて頂きました。寄付をするだけでなく、メンバーで福島の被災地に訪問して桜の木を自らの手でしっかりと植樹して参りました。我々まちづくり団体が自らの町のみならず、架け橋となって今後も継続していく事が大切であると感じました。11月にはこの町に住み暮らす子供達にまちの魅力を知ってもらい、関心を持って頂く為に行ないました。親子で鎌倉の文士の魅力を学び自ら積極的に行動して頂きました。

中根委員長率いる拡大研修委員会では、会員の拡大とメンバーの研修事業を担当致しました。4月にはJCのOBでもあります神戸先輩をお呼びして、青年会議所活動の意義を学び、会員資質の向上を促して拡大につなげる研修事業を行ないました。6月には3LOM合同例会を鎌倉青年会議所主管の下、逗子葉山青年会議所、藤沢青年会議所と共に行ないました。2020年東京オリンピック、パラリンピックのセーリング競技の海域を体験して、よりまちの魅力を確認して今後のまちに対する準備意識も強まる気づきの場となりました。8月例会では鎌倉市長松尾崇氏、JCのOBでもあります夕張再生の会代表上田博一氏をお呼びしてまちづくりリーダー論について熱い講演を頂きました。体外的にも我々青年会議所の活動を発信することが出来て、拡大の強い推進力にも繋がりました。10月には己スピーチと題してメンバーが自分の事について話をしてメンバー同士お互いを理解する新しいかたちの事業を行ないました。今までに無い様々な事業を行い、メンバーが興味を持ち自己研鑽する事で活性化していかたちで外へ発信と拡大活動が出来たと思います。そして新しいメンバーが活躍できる場が多くあり、顕著に成長へつながったと考えます。

杉浦委員長率いる総務交流委員会は3回の総会と5回の例会を担当して頂きました。1

月の例会新年式典・賀詞交歓会では私のテーマ、スローガンを下に、委員会が力強い演出を行い、多くのお客様をおもてなしして力強い一年のスタートを切ることが出来ました。3月メモリアルデーではJCの創立のお祝いを、今田先輩をはじめとするOB諸兄の皆様とすると共に、入会間もないメンバーを先輩方に紹介し、OBと現役メンバーの交流を深めることが出来ました。7月例会では次年度理事長に選出されました大崎厚郎君を盛大にお祝いして、次年度への意気込みをOBと現役メンバーで感じる場となりました。9月例会であります神奈川ブロック大会海老名大会では神奈川ブロック協議会最大の運動発信の場として多くの出向者とメンバーに気づきと学びを得てもらえる場となりました。12月例会では理事長として一年間の活動の総括を行いました。そして長年、まち、会の発展に多大なるご尽力を頂いた石井紀彦君をはじめとする6名の卒業生を盛大に送り出して頂きました。

この様に、我々鎌倉青年会議所の本年度一年間の活動を行なった事によりこのまちに住み暮らす人々がさらにこのまちに関心を持つきっかけとなり、共に活動をしていく事で未来ある子供たちに明るい豊かな社会を創出していけると確信しています。最後になります。私の考えを受け止め強い意志と行動力で活動して頂きました委員長の皆様、そして、その委員長を支え活動してくれた委員会メンバーの皆様、当会議所の運営に携わりながら委員会の活動も支え指導してくれた大崎副理事長、樋渡副理事長、また厳しくも温かいご指導を頂きました石井特別、川島直前理事長兼監事、蓮見監事そして私の1番近くでこの一年間を共に駆け抜けて頂いた日向専務理事に心より感謝を申し上げ理事長報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 大崎 厚郎

2016年度、まちづくり委員会担当副理事長を務めさせて頂きました。牧田委員長率いるまちづくり委員会は次年度段階より活発な委員会活動を行い、多くの委員会メンバーの協力もあり大変に素晴らしい委員会を担当させて頂けた事に感謝を申し上げます。

委員会を受け持った際に、特に注意をしたことは理事長所信やテーマに則り、一年を通じて、筋の通った事業構築をしていく事でありました。5月に慈善茶会を担当する委員会であり、どうしてもそこだけに目が向きがちではありますが、担当をさせて頂いた3例会共に同じ例会である事を念頭に置き、どの例会でも同じように出来る事は全てしてきたと考えています。どの例会も外部の方のご協力を得て開催されたものになり、関係諸団体との新しい繋がりや更に太くなる繋がりも出来たと信じております。例年とは周りの環境が違う部分もあり委員長や委員会には苦労を掛けたと思いますが、大変勉強になる一年であったと考えております。

最後になりますが、委員会運営を行ってきた牧田委員長、今村副委員長、松永副委員長を始めとする委員会メンバー、共に一年間を走ってきた正副のメンバー、そしてこのような機会を与えて頂いた渡邊理事長を始めとする鎌倉青年会議所の全てのメンバーに感謝を申し上げ、副理事長報告とさせて頂きます。

一年間ありがとうございました。

副理事長 樋渡 悠浩

本年は、青年会議所運動を力強く推し進める土台となるべく拡大研修委員会の担当副理事長として重要な役割を担わせて頂きました。

日々の拡大活動では、委員会を率いる中根委員長と共に、情熱をもって青年会議所の魅力や厳しさそして意義をしっかりとお伝えした上でご入会いただけるよう努めてまいりました。しっかりと青年会議所の活動の厳しさをお伝えすることで、楽しいから入会したいではなく、厳しいからこそ入会したいと、むしろ入会の動機となった会員が多かったように感じております。各種事業におきましては、中根委員長のもと積極的に委員会を開催し、理事長の掲げるテーマ「新たなる挑戦」にあるとおり、従来 of 研修例会にはなかったような例会を目指し活動してまいりました。特に3 LOM合同例会では、主管LOMである我々鎌倉JCだけでつくりあげるのではなく、他2 LOMの方々にも議論の段階から積極的にご参加をいただき、それぞれのLOMがもった力を最大限に発揮し例会を作り上げることができました。

最後となりますが、副理事長として共に活動させていただいた大崎副理事長、運営にご尽力いただきました日向専務、一年間を共に活動できたことは私自身の貴重な経験となりました。また委員会運営を情熱的に行ってくれた中根委員長、支えていただきました委員会のメンバー、そして私にこのような貴重な機会を与えてくださいました、渡邊理事長に感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。

専務理事報告

専務理事 日向 智則

2016年度私は公益社団法人鎌倉青年会議所の専務理事を務めさせていただきました。委員や委員長とは違った視野で当会議所の活動を見る一年となりました。渡邊理事長と行動を共にし、他 LOM の理事長や専務理事の皆様との交流もさせていただきました。1年間を通じて様々な場所へ理事長と共に行動をさせていただくことで、様々な経験をさせていただきました。

専務理事として情報を皆様へお伝えするところや、総務交流委員会の担当、会の予算の管理を財務理事と一緒にやる等やることが非常に多く、大変な部分も多くありましたが、今後その経験を生かしていきたいと考えております。

1年間円滑に業務を行えたかといいますと、なかなか難しい部分がございます。理事長をはじめ皆様の多大なるご協力いただくことで終えることが出来ました。

最後となりますが、専務理事という役職与えてくださった渡邊理事長をはじめ、大崎副理事長、樋渡副理事長、総務交流委員会杉浦委員長並びに委員会メンバーの皆様、そして公益社団法人鎌倉青年会議所メンバーの皆様に感謝を申し上げ専務理事報告とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

2016年度 委員会事業報告

まちづくり委員会

拡大研修委員会

総務交流委員会

まちづくり員会

- 委員長 名：牧田 芳明
- 副委員長 名：今村 広太郎、松永 充広
- 委員 名：大森 啓田、坂本創志、津田康有、野村 亮介、二見 宏史、御代川 洋平、米澤 寿人、藤田 憲一郎

1) 事業報告

(I) まちの特色を学び、魅力を考える事業の開催

- (a) 内容：2月例会 学ぼう、通り過ぎていた鎌倉
- (b) 時期：2016年 2月10日(火)
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所301会議室
- (d) 対象：正会員21名

(II) まちの特色と魅力を発信するための事業の開催

- (a) 内容：5月例会 第48回慈善茶会の開催
- (b) 時期：2016年 5月14日(土)
- (c) 開催場所：大仏殿高德院
- (d) 対象：正会員28名 ゲスト1名 OB37名 来訪JC74名
御客様557名 淡交会鎌倉支部32名
淡交会鎌倉青年部30名 鎌倉女子大学茶道部25名
鎌倉高校8名 七里ガ浜高校10名 深沢高校7名
鎌倉ユネスコ協会31名

(III) 関係諸団体との信頼関係を深める事業の開催

- (a) 内容：5月例会後の懇親会の開催
- (b) 時期：2016年 5月14日(土)
- (c) 開催場所：華棲楼
- (d) 対象：正会員22名 ゲスト1名 OB13名 来賓3名
協働団体関係者2名 淡交会鎌倉支部4名
淡交会鎌倉青年部2名 学生1名

(IV) まちの特色と魅力を、次世代を担う子供たちに伝えるための事業の開催

- (a) 内容：11月例会 KAMAKURA QUESTの開催
- (b) 時期：2016年11月19日(土)
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所
- (d) 対象：正会員23名 ゲスト1名
市民(市内在学小学生 55人 並びに保護者 計110人)
予約数 124組

2) 委員会報告

本年度まちづくり委員会では、次世代におけるまちづくりの原動力の増加が今、鎌倉のまちで求められているものだと考え、一年間活動してまいりました。

まちの特色を学び、魅力を考える事業では大塔宮鎌倉宮 宮司 長岡氏による講演と共に各班でディスカッションを行い、今鎌倉で見逃されている特色と魅力について学びました。続いてまちの特色と魅力を発信する事業として、第48回慈善茶会を大仏殿高德院にて開催いたしました。本年度は「伝えよう、通り過ぎていた光景。気付いていなかったまち」をテーマとして4部会で設営を行い、当日は茶道裏千家千宗室御家元によります献茶式を始め、寄付先であるふくしま浜街道桜プロジェクトに関する様々なしつらえを4部会で設営し、ご来場いただきました御客様に、日常の中で過ぎ去っている、気付いていなかったまちの光景を感じていただきました。その後に開催された第48回慈善茶会後の懇親会では、OBの諸先輩方や関係諸団体の皆様との関係をさら深める事が出来ました。最後に本年度学んできたものを次世代のまちづくりを担う子供たちに伝える為に、KAMAKURA QUESTを開催致しました。鎌倉市内小学校通う小学生の児童の皆様に、鎌倉の文化についてお伝えして、体験しながら学んで頂きました。

当委員会はメンバー一同、一年を通じて、鎌倉にはまだスポットの当たっていない魅力があり、それを気付き伝える事が、次世代のまちづくりの為の推進力になると確信致しました。

最後となりますが、ご指導いただきました渡邊理事長をはじめとする正副理事長の皆様、温かくご指導いただいた当委員会担当の大崎副理事長、励ましあい、時には意見をぶつけ合いながら事業を創り上げた委員会メンバーの皆様、そして、鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様に深く感謝を申し上げ委員会報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

拡大研修委員会

- 委員長 名：中根 重義
- 副委員長 名：齊藤 千尋
- 委員 名：齊藤 正朗、竹生田 修、田中 健雄、橋本 航季、松倉 忠、山田 亨、波多江 悠、根本 紗央里

1) 事業報告

(I) 会員拡大及び会員資質向上活動

- (a) 内容：会員拡大、青年会議所の基本概要の説明、新入会員の育成、会員の資質向上
- (b) 時期：2016年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉市内及び近隣各所
- (d) 対象：新入会員7名

(II) 青年会議所活動の意義を学び、会員資質の向上が会員拡大につながる研修の開催

- (a) 内容：①4月例会「素晴らしい会に、素晴らしい仲間を」の開催
②10月例会「会員拡大に向け、百戦殆うからず
～もっと仲間の魅力を共有しよう～」の開催
- (b) 時期：①2016年 4月 5日（火曜日）
②2016年10月11日（火曜日）
- (c) 開催場所：①鎌倉商工会議所会館 301会議室
②鎌倉商工会議所会館 301会議室
- (d) 対象：①正会員21名 ゲスト1名 来訪JC1名
②正会員22名 ゲスト1名

(III) 近隣LOMと交流し、共に学ぶ事業の開催

- (a) 内容：6月例会 3LOM合同例会「地域に先駆け、セーリングを学ぼう」の開催
- (b) 時期：2016年 6月22日（火曜日）
- (c) 開催場所：東京五輪セーリング競技予定海域（江の島～腰越）
鎌倉商工会議所会館地下ホール
- (d) 対象：公益社団法人 鎌倉青年会議所21名 ゲスト2名
一般社団法人 逗子葉山青年会議所12名 ゲスト7名
一般社団法人 藤沢青年会議所31名

(IV) 会員拡大活動のための事業の開催

- (a) 内容：8月公開例会「鎌倉市長松尾崇氏・夕張再生の会代表 上田博和氏が語る～まちづくりリーダー論～」の開催
- (b) 時期：2016年 8月16日（火曜日）

(c) 開催場所：鎌倉生涯学習センターホール

(d) 対象：正会員25名 OB・来訪JC30名 市民44名

2) 委員会報告

本年度の拡大研修委員会では、会員拡大の主役が我々メンバーであり、そのメンバーが青年会議所活動に対する理解を深め、活動していくことが力強い青年会議所活動が今後も継続され、「明るい豊かな社会の実現」の基盤となる「会員拡大」につながると考え一年間活動をしてまいりました。

本年は7名のメンバーに入会頂きましたが、拡大活動と研修活動との両輪を回すことで、入会後も例会や委員会を中心とする我々の活動への参画について非常に高い意識を持った新入会員となりました。拡大と研修がつながることで質の高い拡大活動が行えることがわかりました。

4月、10月の各例会では、メンバー自身が青年会議所に対する理解をより深めると共に、拡大の主役であること、青年会議所と仲間の魅力を改めて考えることで会員拡大と資質向上を図る機会としました。近隣LOMと交流においては、主管として3LOMの地域性を活かしながら、3LOMメンバーと共に学び互いの活動に刺激を受け、絆をより強めることにつなげました。また、会員拡大のための8月例会では、青年会議所活動やリーダーを育てる場としての青年会議所の素晴らしさを発信すると共に、メンバーの拡大意識を改めて醸成しました。

当委員会は青年会議所活動の基盤である拡大と推進力となるメンバーの資質向上を通して、委員会メンバー一同、唯一の継続事業と言われる拡大活動においては様々な活動を連携させる事が重要であり、有効な手段であること確信致しました。

結びとなりますが、ご指導ご鞭撻いただきました渡邊理事長をはじめとする正副理事長の皆様、細やかなご指導いただいた当委員会担当の樋渡副理事長、闊達な議論とともに、さまざまな視点からの素晴らしいアイデアと行動力をもって事業を創り上げた委員会メンバーの皆様、そして、鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様に深く感謝を申し上げ委員会報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

総務交流委員会

- 委員長 名：杉浦 大介
- 副委員長 名：永田 磨梨奈、脇本 遼
- 委員 名：大西 広朗、黒木 伸太郎、長野 トーマスマコト、宮沢 輝、
メタ バラッツ、魚住 智哉、村山 大輔、潮見 雅利

1) 事業報告

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内容：総会並びに理事会の開催、鎌倉青年会議所の運営
- (b) 時期：2016年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所202会議室他

(II) 交流会の開催

- (a) 内容：①新年式典・賀詞交歓会の開催
②メモリアルデーの開催
③次年度理事長を囲む会の開催
④「年末式典・卒業式」・「卒業生を送る会」の開催
- (b) 時期：①2016年 1月19日（火曜日）
②2016年 3月13日（日曜日）
③2016年 7月12日（火曜日）
④2016年12月21日（火曜日）
- (c) 開催場所：①鎌倉パークホテル 海星の間 翠雲の間
②アマンダンブルー
③KOTOWA鶴ヶ岡会館 彩美
④鎌倉華正楼
- (d) 対象：①正会員24名 OB47名 入会希望者8名
来賓 21名 来訪JC69名
②正会員20名 OB15名 ゲスト 4名
③正会員30名 OB25名 ゲスト 2名
④正会員29名 OB19名

(III) 広報・渉外に関する事業

【広報】

- (a) 内容：①ホームページ、フェイスブックの管理・運営
②会員並びに外部への情報発信
- (b) 時期：2016年 1月～12月

【渉外】

- (a) 内容：①(公社)日本青年会議所の事業への参加
②関東地区協議会の事業への参加

③神奈川ブロック協議会の事業への参加

④出向者支援

⑤関係諸団体の事業への参加

(b) 時 期：2016年 1月～12月

(c) 開催場所：①広島県広島市他

②群馬県太田市他

③神奈川県内及び近隣地域

④鎌倉市内及び近隣地域

(d) 対 象：①正会員 8名

②正会員 6名

③正会員18名

2) 委員会報告

本年度、総務交流委員会は鎌倉青年会議所が明るい豊かな社会の実現を目指して活動していくため、積極的に会の運営と各委員会の事業に関わり、メンバー一人ひとりの個の力を同じ目的のもとに結集し運動を盛り上げ活動してまいりました。

会議の開催及び青年会議所運営全般は、定款と公益法人の基準に則り厳格な運営を行うとともに、会員の意思統一を行い、組織力の強化と事業の意義・魅力を一層高める事に繋げることができました。さらに、改定された会費規程・経理規程に従って財務を執り行うことにより、円滑な会議所運営に繋げることができたと考えます。

交流会の開催においては、メンバーとOB諸氏、関係諸団体との皆さまに対して、私たちの活動が多くの方々のご支援のもとに開催していることの感謝と、当会議所の2016年度の方角性をお伝えすることにより、交流を深め絆をより強いものとする一助といたしました。

広報に関する事業においては、ホームページ及びフェイスブック等を使い、例会を始めとする事業の告知・報告をすることにより、当会議所の魅力を広く発信いたしました。特にフェイスブックでは、慈善茶会について最大5000人以上の方に発信するなど、運動を盛り上げる一助とすることができました。渉外事業においては、日本青年会議所、関東地区協議会、神奈川ブロック協議会並びにその他の関係諸団体の事業の意義を伝え参加者を募るとともに、交通、宿泊、現地における飲食等の設営を担当いたしました。各団体の事業への参加は会員の学びと気付きの機会と、出向者支援の一つとなったと考えます。

当委員会の取り組みにより、メンバー全員が同じ方向を向いて意識を高めて活動したことは、組織をより一層強固にするとともに運動を盛り上げ、2016年度当会議所が力強く運動を推し進めていく原動力の一助となったと確信いたします。最後になりますが、本事業にご参加ご協力をいただきました全ての皆様に深く感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。一年間、ありがとうございます。